

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第7部門第2区分
【発行日】平成18年7月20日(2006.7.20)

【公開番号】特開2005-72216(P2005-72216A)
【公開日】平成17年3月17日(2005.3.17)
【年通号数】公開・登録公報2005-011
【出願番号】特願2003-299430(P2003-299430)
【国際特許分類】

H 0 5 K 7/20 (2006.01)

【F I】

H 0 5 K 7/20 M

【手続補正書】
【提出日】平成18年6月1日(2006.6.1)

【手続補正1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項1】

小型電子機器の内部に搭載されるものであって、
冷却液を供給するポンプと、前記冷却液が供給され電子部品からの熱を受ける受熱ジャケットと、この受熱ジャケットを経た前記冷却液が供給され熱を放熱するラジエータと、このラジエータを経た前記冷却液が前記ポンプに循環するフレキシブルチューブからなる流路とを有する液冷システムにおいて、

前記フレキシブルチューブから溶出するイオンを捕獲するために、前記流路の一部にイオン交換樹脂を封入した袋を備えたイオン交換バックを設置したことを特徴とする液冷システム。

【請求項2】

請求項1記載の液冷システムにおいて、
前記イオン交換樹脂を封入した袋を備えたイオン交換バックを容器に保持し、前記イオン交換バックを取り替え可能なイオン交換ホルダを前記容器に設けたことを特徴とする液冷システム。

【請求項3】

請求項1若しくは2のいずれか1項に記載の液冷システムにおいて、
前記イオン交換バック又は前記イオン交換ホルダを前記ラジエータの中または下流、かつ受熱ジャケットの上流の液冷システムの構成部品に設置したことを特徴とする液冷システム。

【請求項4】

基板上に搭載された発熱素子と、この発熱素子と熱的に接続された受熱ジャケットと、この受熱ジャケットからの加熱液体を放熱するための放熱ジャケットと、これらのジャケットに液体を循環させるためのポンプと、このポンプと両ジャケットを接続する配管を備えた電子機器において、

前記配管の途中にイオン交換樹脂を封入した袋を備えたイオン交換バックを設置したことを特徴とする電子機器。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

上記目的は、小型電子機器の内部に搭載されるものであって、冷却液を供給するポンプと、前記冷却液が供給され電子部品からの熱を受ける受熱ジャケットと、この受熱ジャケットを経た前記冷却液が供給され熱を放熱するラジエータと、このラジエータを経た前記冷却液が前記ポンプに循環するフレキシブルチューブからなる流路とを有する液冷システムにおいて、前記フレキシブルチューブから溶出するイオンを捕獲するために、前記流路の一部にイオン交換樹脂を封入した袋を備えたイオン交換バックを設置したことにより達成される。